



# 有限会社 瀬戸口瓦工場

## 会社概要 2012年10月現在

**創業** 昭和28年5月  
**資本金** 300万円  
**従業員数** 3人  
**代表者** 瀬戸口 一郎  
**所在地** 〒895-2104  
 鹿児島県薩摩郡  
 さつま町柏原3100

**事業概要** シラス瓦・セメント瓦の製造販売  
**主要製品** HITTO-BAN S-49  
 ユーロベストS-30  
 石娘S-24  
**連絡先** TEL.0996-53-1078  
 FAX.0996-52-3720  
 setokuchi@mountain.ocn.ne.jp

## 私たちの得意なこと! できること!

### 自然素材の軽量屋根材

#### 使用素材

普通シラス・セメント・砕砂

#### 具体的につくれるもの

- ・HITTO-BAN S-49(軽量断熱シラス和瓦)
- ・ユーロベストS-30(軽量断熱シラス洋瓦)
- ・石娘S-24(軽量断熱シラス大判瓦)

## それはこの技術があるから

### 加圧脱水成形法

シラスの欠点を克服する加圧脱水成形法と、原料配合や塗装技術の工夫により、軽量断熱性に優れたシラス瓦の開発に成功しました。シラスの軽量性を活かしたシラス大判瓦は実用化されているものは九州最大で、施工性にも優れています。



## 私たちはこんな技術を持っています

シラス瓦は施工性・意匠性・耐風耐震性に優れています。さらに断熱性に優れているため省エネ効果も期待できます。シラス瓦は成形時に焼成工程が不要なため、CO<sub>2</sub>排出抑制に大きく貢献できます。また、自然素材であるため、リサイクルや処分時に環境への負担を最小限に抑えることができる、人にも環境にもやさしい屋根材です。



## 私たちがこれから展開を目指すこと

現在、アスベスト含有屋根材の解体工事の危険性が問題となっています。対策が不十分なまま解体を行うと、作業員だけでなく周辺住民もアスベスト被曝・発病してしまいます。私達は最新技術による安全な解体工法を採用し、さらに解体後、構造的にあまり荷重をかけることができない建物への軽量断熱シラス瓦の展開に取り組んでいます。



## 工業技術センターからこんな技術支援を受けました

- ☑技術相談・指導
- ☑依頼試験・分析
- ☑共同研究等
- ☑特許出願・実施

これまでシラスはコンクリート用細骨材には不適とされていましたが、工業技術センターの技術指導によりシラスの欠点を克服。シラスとセメントを強固に結合させる、加圧脱水成形法を確立することができました。その結果、軽量性と断熱性に優れたシラス瓦の開発に成功し、実用化ができました。



## 技術屋の熱い想い

専務取締役  
瀬戸口和徳さん



## 日本の技術を次世代に残すために

住宅産業の低迷により瓦の製造技術や設備の国外流出が加速しています。失われつつあるものづくりの技術を次世代に残すため、そしてシラス瓦が全国展開することで地場産業が共に発展できるように努力します。